



駒澤会だより

第25号

2016年7月28日

駒澤大学駒澤会発行



祖師の坐禅 —マインドフルネスの超克—

総長 池田魯参

駒澤会の皆様には、日頃から駒澤大学建学の理念と教育方針に対し全面的なご理解とご協力を頂戴していますこと、本会名誉会長として心から感謝申し上げます。皆様方にご寄附をお願いしている130周年記念棟の建設工事も、目下順調に進んでおり、第1期の主工事は来年一杯で完成の予定です。受験生が激減し大学経営を圧迫する、いわゆる「2018年問題」に対し、ようやく本学も新たな教育環境を整え、明確なポリシーを掲げて迎え撃つ準備が出来上ります。これも一重に教育後援会OBの皆様の温かなご支援の賜物です。

この程、130周年記念棟の通称が「種月館」と決まりました。「耕雲館」（旧図書館・現禅文化歴史博物館・東京都選定歴史的建造物）と歴史軸線上で照合する名称です。この語は、元『宏(わん)智(し)広録』巻8に「耕雲種月自由人」、「釣月耕雲」と見える句です。『永平広録』巻10で、道元禅師は「月を釣り雲を耕して古風を慕う」、「月を瑩(みが)き雲を耕して古風を慕う」（月を友とし雲を友として祖師の古風を慕う日日である。鏡島元隆訓・訳）と示し、禅師から五代後の『大智偈頌』172では「耕雲種月起家風」（雲に耕し月に種え大いに宗風を揚げる。来馬琢道訓・訳）と表現します。それぞれ異なる文脈の詩句を定型の語義解釈ですますことはできませんが、「耕雲・種月」の語が、ゆったりと綿密に事に処(しよ)する様(さま)を表現している点は共通しています。本学に学ぶ学生諸氏が快適な「種月館」で、のびのびとしっかり学問研究に励んで欲しいという願いです。

好い機会なので「曹洞宗立宗の精神」をより深くご理解頂くために、藤田一照・伊藤比呂美（対談）著『禅の教室—坐禅でつかむ仏教の真髓—』（2016年3月中公新書・860円）のご一読をお勧めします。伊藤さんは、アメリカ在住19年の詩人で近年は仏典の現代語訳を出され、「胎児はうんこ」の過激表現で知られた方です。藤田さんは28歳のとき安泰寺で得度し、33歳のときから18年間、アメリカマサチューセッツ州にあるパイオニアヴァレー禅堂の住持を勤め、現在は曹洞宗国際センター所長の要職にあり、永平寺の月刊『傘松』誌に「只管打坐雑考」を連載中です。本書では現在世界的流行を見せる「マインドフルネス」の瞑想法が道元禅師の坐禅とどれほど異質なものであるか明言しています。大いに参考になりましょう。



平成28年度 駒澤大学駒澤会委員総会報告

総務部委員 軽部 雅美

平成28年度駒澤大学駒澤会委員総会が、5月21日（土）午後1時より駒澤大学深沢校舎講義室2-1において開催されました。

総会議題に先立ち、4月1日にお亡くなりになりました、広報部副部長松浦雅人さんに、謹んで哀悼の意を表し黙祷を捧げました。

初めに、駒澤会名誉副会長である駒澤大学廣瀬学長よりご挨拶を頂きました。奨学金給付による学生支援に御礼を頂きました。大学は、本年度より大学改革推進室を設け、グローバル社会の中で生残れる大学を目指している。「禅の心で人をつくる・禅の心で人を育む駒澤大学」をスローガンとし、また、禅と英語教育。英語に力をいれて、生まれ変わろうとお話しされました。

次に、森屋駒澤会会長挨拶の後、議長となり、議事に入りました。

審議事項

議題

- 1 平成27年度各部活動報告の件
- 2 平成27年度決算及び基金管理状況報告の件
- 3 会計監査報告の件
- 4 会長・副会長・監査選任の件
- 5 平成28年度各部活動計画の件
- 6 平成28年度予算案の件
- 7 その他

第1号議案は総務部より山田部長、広報部より荒井部長、厚生部より滝澤副部長からそれぞれ報告がありました。第2号議案は田中副会長より報告がなされました。第3号議案は、鈴木監査より報告があり、第1号～3号議案は拍手をもちまして承認されました。

第4号議案は森屋会長より各候補者の発表がなされ、承認されました。そして、村田広報部副部長より、「会長・副会長・監査の任期期間延長を検討いただきたい」と意見があり、今後役員会で審議していくこととなりました。

第5号議案は各部部長（副部長）から発表、第6号議案は、田中副会長から説明され、拍手をもちまして承認されました。

第7号議案にて、駒澤大学が130周年記念棟を建設中ですが、その寄付につきましては、引続き役員会に一任して頂くよう承認されました。また、会員名簿は総会出席者のみに配布しており、個人情報ですので、取扱いに注意していただくよう発言がありました。



事務局からは、平成28年度駒澤会年間行事予定と駒澤会入会者数・奨学金について報告がありました。

午後1時50分に平成28年度委員総会を終了致しました。その後、教育後援会の方も参加して深沢校舎洋館小ホールにて懇親会が行われました。

駒澤会新役員紹介

役員任期：平成28年5月～平成30年5月



会 長
森屋 正治



副会長
一戸 隆男



副会長
田中 隆一



副会長
三崎 章子



監 査
赤堀 菊絵



監 査
鈴木 康元



監 査
市川 よし子



総務部部長
山田 直重



総務部副部長
久野 文代



総務部副部長
吉田 洋一



広報部部長
荒井 喜久子



広報部副部長
村田 保廣



広報部副部長
齋藤 和子



厚生部部長
木村 朋子



厚生部副部長
滝澤 憲示



厚生部副部長
三浦 ひろ子



教育後援会会長
参与 吉田 稔

駒澤会参与のご紹介

平成28年度も教育後援会の
会長・副会長に参与をお勤め
いただきます。

更なる駒澤会の発展のため、
若いお力を頂戴できればと
思います。



教育後援会副会長
参与 齋藤 誠



駒澤会新年賀詞交歓会報告

総務部委員 横山 由美子

平成 28 年 2 月 14 日 駒澤会新年賀詞交歓会が開催されました。

場所は昨年同様、渋谷 セルリアンタワー東急ホテルです。

森屋正治駒澤会会長の開会のご挨拶で始まり、池田魯参駒澤会名誉会長、廣瀬良弘駒澤会名誉副会長、大谷哲夫駒澤会元名誉会長とそれぞれご挨拶をいただきました。そして、懇親会に入り萩野度一同窓会会長、吉田稔教育後援会副会長にもご挨拶をいただきました。美味しいお料理をいただき、ビンゴゲームで盛り上がり、夜景を楽しみながら終始和やかな雰囲気の中での会でした。

私は平成 26 年度の教育後援会卒業生です。厚生部所属で 4 年間活動して参りました。3 年生になるまで駒澤会という会があるのは何となく知っていました。何となくというのは大変失礼ですが、後援会の賀詞交歓会での駒澤会会長のご紹介があり、正直、その時まで聞かない名前の会でした。すみません・・・。

4 年生になって「5 月の深沢キャンパスでの駒澤会の懇親会に出てください。」と執行部から言われ、よくわからないまま出席したのが駒澤会との第一歩でした。

教育後援会の卒業生は自動的に駒澤会に入会していた時期もあったと聞きびっくり。後援会とそれほど深い関係の会が、今ではほとんど誰も知らない・・・そのことにも驚きでした。

昨年度から会員として駒澤会の行事に参加させて頂きましたが、教育後援会とはまた違った余裕のある楽しみ方も感じましたし、後援会を支えて来てくださった先輩方との交流は楽しいものでした。

皆さん、お子さんが卒業されてもずっと駒澤大学を愛し続け、応援し続けている・・・まさに駒澤愛に溢れた方々ばかりです。

私の代の卒業生は 5 名が入会しました。入会者が後に続くようにもっと駒澤会の魅力を発信し、後援会委員との交流の場を増やして行って欲しいと思いました。



駒澤大学陸上競技部

～箱根駅伝連続50回出場・創部53周年祝賀会～

平成28年2月13日（土）に駒澤大学深沢キャンパスにおいて、駒澤大学陸上競技部の箱根駅伝連続50回出場、及び創部53周年祝賀会が開催されました。当日は陸上競技部監督・コーチ・部員、OB会、後援会等々の各種関係者や、多数の出席者が集まり盛大に行われました。

駒澤大学陸上部競技部は昭和42年1月に開催された第43回箱根駅伝に初出場してから、平成28年1月の第92回大会で連続50回目の出場と共に創部53周年を迎えました。

駒澤大学陸上競技部は箱根駅伝で優勝候補の一つとして毎回注目され、最後まで懸命な走りを見せてくれています。過去には箱根駅伝で4連覇を含む、6回の総合優勝を成し遂げています。近年は惜しくも優勝には届かないものの、この5年間で準優勝3回、3位2回と素晴らしい成績を残しています。

現在は平成27年4月から本学陸上競技部OBの藤田敦史コーチが加わっており、箱根駅伝を始め、出雲駅伝、全日本大学駅伝を含む、大学3大駅伝での優勝を目指し、日々練習に励んでいます。駒澤会でも盛り上げて陸上競技部優勝に向けて応援しましょう。



駒澤会奨学金について

平成28年度、下記のとおり奨学金が支給されました。

支給金額 総額400万円（20万円×20人）

奨学金授与式 平成28年7月20日（水）

出席者 学長、駒澤会執行部

※詳細は駒澤会だより26号及び、駒澤会HPでお知らせいたします。



駒澤会入会のお願い

～平成 27 年度 卒業式にて～

厚生部副部長 滝澤 憲示

駒澤大学卒業式が行われた 3 月 23 日と 24 日の両日、駒澤会で、卒業式に出席された卒業生御父母の方に、駒澤会入会の呼びかけを行いました。昨年は卒業式が体育館で行われたので、体育館 2 階の御父母席出入口前で入会の呼びかけを行いました。今年も駒澤大学開校 130 周年記念棟建設中のため卒業式が記念講堂、御父母席が 1 号館の教場に変更されましたので、1 号館 2 階のロビーで入会の呼びかけを行いました。また、卒業式が学部別に 2 日に亘って行われましたので、駒澤会入会の呼びかけも 2 日に亘って行いました。卒業式を終えた卒業生御父母の方に、「駒澤会（卒業生父母の会）入会のご案内」ビラを配り、「ご卒業おめでとうございます。駒澤会に入会お願いします。」と声をかけました。キャンパス内では卒業生や御父母の方が、咲き始めた桜をバックに思い思いの記念写真を撮っていました。「駒澤大学卒業生に幸多かれ！」と思いました。

駒澤会は、駒澤大学卒業生を持つ親の会として昭和 46 年に発足以来 1100 人を超える在校生に奨学金を給付してきました。駒澤会入会時の会費（1 万円）は、在校生への奨学金の基金になります。奨学金は在校生の勉学や研究等有意義に使ってもらえると思います。

駒澤大学卒業生御父母の方は、いつでも駒澤会に入会できます。駒澤会の入会受付は、駒澤会事務局（駒澤大学教育振興部：TEL 03-3418-9189）で受付けていますので、駒澤大学卒業生御父母の方は御連絡頂き御入会頂きたくお願い申し上げます。





初夏の親睦会報告

監査 市川 よし子

平成28年6月11日（土）に駒澤会「初夏の親睦会」が開催されました。今年の企画は高尾山散策、うかい鳥山での食事会でした。参加者には、高尾山散策から参加する方々と、うかい鳥山での食事会から参加する方々との二通りがあり、私は高尾山散策から参加致しました。

関東は梅雨入りして曇りがちな天候が続いていましたが、親睦会当日は梅雨の合間の晴天で、まさに登山日和、親睦会日和です。高尾山には小学校の遠足を初めとしてこれまで数回訪れていましたが、近年は久しく行っておりませんでしたので、昔と変わって神社の充実、人の多さにびっくりしました。

高尾山口駅で集合した私たち参加者10人は、ケーブルカーに乗車しましたが、さすが日本一の急勾配のケーブルカー！座っていてもずり落ちそうになる程です。途中はマジックハウスにいるような錯覚さえありました。

下車後は薬王院を目指し登り始めましたが、行程では見晴らしの良い場所から展望を眺めたり、所々に設置されているモニュメント等で足を止めたりと楽しく登って行きました。

まもなく薬王院に着き、そこから山頂を目指す組と薬王院周辺を散策する組とに別れ、自由行動。周辺には多くの店舗やパワースポット等の見所が散在しており、山頂では富士山も見ることができたそうです。途中の展望の良いお茶屋で一同休憩したのちケーブルカーで下山、食事会から参加される方々と合流して送迎バスでお店へ向かいました。



うかい鳥山はうかいグループの創業店で、6000坪を超える広大な敷地に庭園も綺麗に整備され、点在する離れの客室が趣を出しています。

炭火焼き料理のお店で、メイン料理の際は各テーブルに設置された囲炉裏の上で鳥肉や野菜を焼くため、部屋の中は香ばしいかおりで瞬く間にいっぱいになりました。おいしい料理とおいしいお酒をいただきながら、皆さま会話も弾んだようです。

窓からの景色・雰囲気も四季折々の変化を感じられそうで、違う季節にまた再訪してみたいと思いました。



毎回、楽しい行事を企画して頂いている厚生部委員の皆様ありがとうございます。今後の行事も楽しみにしております。今回ご参加いただけなかった皆様、次回以降のご参加をぜひご検討ください。会員同士で親睦を深め、楽しく活気ある会にしていきたいと思います。

会員紹介

玉川 孝子さん



今回は駒澤会会員、玉川孝子さんを紹介します。玉川さんは平成27年度から一如会会長として活躍されています。

(※一如会とは、駒澤大学高校の卒業生を子供に持つ親の会。

子供の高校卒業後も高校発展のために協力したいとの思いで昭和57年に発足された会)

玉川さんは、子供が駒澤大学高校へ入学され、卒業時に一如会へ入会、駒澤大学入学後には駒澤大学教育後援会の文化部に所属し活動されました。その後、駒澤大学を卒業された平成4年には駒澤会へ入会いただきました。駒澤会では広報部委員として活動され、いろいろな行事に積極的に参加して下さい、現在も会員として在籍して下さい。

平成28年6月21日に玉川さんを会員紹介させて頂くため、ご自宅近くの世田谷区玉川へ訪問しお話を伺いました。

「一如会では、全生徒が安心して学校生活を送るための環境作りをお手伝いできればと、活動しています。また、会員の皆様との親睦を目的として各種行事を開催しています。」とのことでした。

教育後援会委員の時も、浜離宮より屋形船で両国までの船旅を計画して下さいたり、大活躍でした。

その後、駒澤会でも松鳳山関の結婚式に出席し、元若嶋津の二所ノ関親方や奥様の高田みづえさん、お嬢さんとも親しく記念撮影し、駒澤会会員として一緒にアピールをして下さり、積極的に参加されています。



一如会の皆様にも駒澤会が優秀な生徒輩出のため奨学金を授与し、社会で活躍いただけるよう応援していることを伝えていただき、駒澤会へも入会をして下さる様に声をかけて下さることを願っています。

駒澤会より赤堀、木村、荒井、事務局より岡田が出席しました。



—インタビュー所感—

玉川さんはインタビューに終始丁寧に、落ち着いて対応いただけました。

一如会の会長をされていると沢山の困難も経験されるそうです。

でも、どんな困難も玉川さんは落ち着いて適格に対応されるのだろうと本日の振る舞いから感じました。

一如会の活動がお忙しく、近頃はなかなか駒澤会にお越しいただけませんが、お時間が出来た際には再度駒澤会に参加していただけることでしょうか。

駒澤会と一如会は共に卒業生を子供にもつ父母会ですし、両団体で今後も高めあっていきたいと思いました。

子供が卒業した後も、子供の母校は親にとって自分の母校と同じよう愛着があります。改めて駒澤大学・駒澤会に貢献できるよう今後も頑張っていこうと、今回の取材で自分の思いを再認識いたしました。



大学近況報告

～開校130周年記念棟建設中～

駒澤大学開校130周年記念棟は、2年後の平成30年4月の利用開始をめざし、順調に工事が進んでいます。この建物には、各種教場をはじめとしてさまざまな施設が入ります。

建物全体の通称名は、禅語の「耕雲種月（こううんしゅげつ）」から採り「種月館」と決めました。「耕雲館」（禅文化歴史博物館）に隣り合う新棟に「種月」の名を冠することで、皆さまにあらためて本学の大学文化としての禅文化を受け止め、大いに学修・研究・業務に励む場としていただきたい、との意味を込めています。



イメージ図

耕雲種月 とは

「雲に耕し、月に種(う)える」と訓読する。耕雲とは雲の下で耕すこと。種月は月の照らす中で植えること、あわせて労苦を厭わず耕作して種を播くこと。古くより禅僧は自分たちで田畑を耕して作物を生産したことから、苦心労役を厭わずに弁道修行に精進するさまをもいう。禅僧の自由洒脱な境界のこと。『大智禅師偈頌』に「伴を借りて異類中に経過し、耕雲種月、家風を起こす」とある。似た表現に「釣月耕雲（月に釣り、雲に耕す）」ということばもあり、『永平広録』巻8に「西来の祖道、我れ東に伝え、釣月耕雲、古風を慕う」とある。

(佐藤秀孝)

出典 『禅の思想辞典』

出版社 東京書籍

各部入部のお誘い

会員の皆様へ

会員の皆様に、各部への入部をお誘いしています。

会の運営を3つの部に分かれて担当して頂くこととなりますが、近郊の方又は遠方でも2～3カ月に一度の会議に出席いただける方は是非ご検討ください。

皆様の入部をお待ちしています。希望される場合は、事務局：岡田までご一報ください。

TEL：(03) 3418-9189 FAX：(03) 3418-9190

総務部

駒澤会の規程や運営費について検討し、駒澤会の活動がスムーズに行われるよう全体的な調整をしています。女性もたくさん活躍しています。

広報部

会報誌「駒澤会だより」の発行やPR活動を中心とし、制作経験の有無にかかわらず、率直に意見を出し合い、和やかに進めています。

厚生部

行事の準備で会員が楽しく有意義な時間を過ごせるよう活動しています。旅行好きな会員も多いため、なかなか訪れる機会のない場所などを考え活動しています。

基金管理委員会からのお知らせ

基金管理委員会では、昨年度の活動として、基金の運用・管理をベースに「基金管理の基本方針の検討・確認」、「会報を通じて運用状況の報告」を実施して参りました。

今年度も引き続き、会報による運用状況の報告を考えておりますが、基金の運用・管理につきまして会員の皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

駒澤会基金運用状況のお知らせ

運用先	4月～7月までの利金	備考
みずほ銀行	18,427円	定期預金利息
世田谷信用金庫	3,838円	定期預金利息
合計	22,265円	

基金管理委員長

訃報

永年にわたり駒澤会会員としてご活躍頂いた松浦雅人氏をご逝去されました。松浦氏は教育後援会の会長任期満了後、駒澤会へ入会され、平成26年度と平成27年度の2年間においては、駒澤会広報部副部長を務め駒澤会に多大なるご尽力をいただきました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



編集後記

熊本の皆さん、頑張ってください。

私の故郷は兵庫県です。1995年1月17日、阪神淡路大震災がありました。当時、私は千葉県にすんでいました。朝のテレビのニュースで、報道があり、「ああ、地震なんだ」と軽い気持ちで見えていました。その後のニュースで大変な被害の地震だと分かり、あわてて故郷の友人に電話をしました。故郷にはもう両親も亡くなり、姉妹も全員他地方に嫁ぎましたので被害にはあっていません。学生時代の友人たちが心配でしたが電話は通じません。テレビのニュースだけが頼りでした。長田での大火災、建物の倒壊等、今まで神戸、兵庫は地震の少ない地域でしたのでショックでした。私は居てもたっても居られなくて、千葉の友人と救援物資をワゴン車にのせて、1日かけて兵庫に行きました。高速道路は西宮まででストップでした。西宮インターでおいて、避難所へ行き被災された皆さんに手渡しし、友人はどうかとたずねました。ご家族がタンスの下敷きになって、今、病院に入院中とか、親戚をたよって居ないとか、周りの商店街も全壊で見る陰もありません。又後でわかったのですが、先輩が建物が倒れてきて亡くなったとか、大変な様子でした。熊本は6月1日現在、1600回の余震が続いていると聞いています。

熊本の皆さん、頑張ってください。皆で助け合って、はげましあって、私達も救援頑張ります。又国中の皆が熊本の皆さんを思っています。この事を忘れないでください。

熊本の皆さん頑張ってください。

(広報部部长 荒井 喜久子)

事務局からのお知らせ

大学行事予定

8月 1日(月)～9月15日(木)
夏季休業期間
9月16日(金) 後期授業開始日
9月17日(土) 9月卒業式
10月15日(土) 第134回開校記念日
10月29日(土)～10月30日(日)
オータムフェスティバル

駒澤会行事予定

7月20日(水) 駒澤会奨学金授与式
10月 1日(土)～2日(日)
駒澤会秋の研修会
12月上旬 駒澤会忘年会
2月 駒澤会新年賀詞交歓会(予定)

駒澤会だより 第25号

発行日:平成28年7月28日
発行者:駒澤大学駒澤会 広報部
154-8525 世田谷区駒沢 1-23-1
TEL:(03)3418-9189
FAX:(03)3418-9190

駒澤会ホームページ<駒澤大学HP内>

<https://www.komazawa-u.ac.jp>
→ 在校生父母の方をクリック
→ 駒澤会をクリック

